

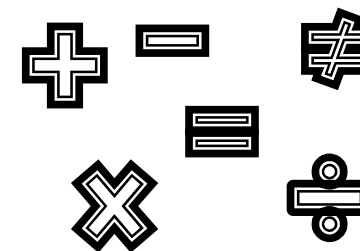
希学園 理事長 前田卓郎の教育講演会

子どもの思考力を育てる秘訣

難関国・私立中受験専門スーパーエリート塾



<https://nozomi-east.com/>



子どもの思考力を育てる秘訣

- ▶ I. 思考力を育てる・・・・・・・・・・・・・・・・ 2-9
- ▶ II. 思考力の発展に繋がるポイント・・・・・・・・ 10
- ▶ III. 低学年における算数思考力練成重要ポイント・・・・ 11-15
- ▶ IV. 常識的判断の形成・・・・・・・・・・・・・・・・ 16-17
- ▶ V. 応用発展力の形成・・・・・・・・・・・・・・・・ 18-21

I. 思考力を育てる

思考力を育てる ⇔ 入試を突破する力
知識を基に作られる智恵をどう培うか？

入試を突破する力の5大要素

1. 自立心を養う
2. 親離れ・子離れ
3. 頑張ることは素晴らしいこと
4. ピアエデュケーション
5. 感謝できる子どもに育てていく

一人の受験生として確立すること



一人の人間としての確立



『変』に臨んで強い子
対応能力の確立



思考力

1. 自立心を養う

最後に頼れるのは自分しかない

中学入試は一生にたった一度しかできない勝負

11～12 才は非常に微妙な年頃

入試本番でかかるプレッシャーは想像以上のもの

入試会場に一旦入ると出てくるまでは1人で戦うしかない

依存心の強い子は危ない

少子化が生んだ過保護な家庭環境

誰かに頼れば何とかしてもらえる「子供」からの脱却

子供の甘えたい気持ちを満たしすぎては依存心を強めるだけ

家庭教師や個別指導の功罪

自信を持たせるために必要なこと

受験に成功した子供は異口同音に「自信」を口にする

失敗から学習する

保護者の先回りは精神的成長を阻害する

実感を持った学習ができているか

自主的な勉強ができる環境を用意する

やらされる勉強ではなく自分から頑張った勉強に

指示・命令ではなく管理・監督すること

結果に対して、自分の責任という意識を持たせる

希学園は自習時間を設定し、自立心を養う学習環境を提供

2. 親離れ・子離れ

結びつきが強いからこそいい関係を築くことは難しい

反抗期のスタート

親も子供が離れていくことに未練がある

親に対してはすべてをさらけ出せる存在だからこそ遠慮がない

中学受験にとっての良好な親子関係を築くことの難しさ

親子の最後の共同作業が中学受験

親子が同じ目標に向かって力を合わせる

まだ友達よりも親の方が大事な年代

大変な思いもあるが結びつきは必ず深まる

独り立ちしていける中学生にすることを念頭に

中学受験は子供時代としての親子関係の卒業式

親子だけでは難しい部分をサポートするのが塾の講師の役割

親としての役割とは

親と子供だけで理想的な距離感を作り出すことは非常に難しい

他人だからこそ担えることがある

勉強を教えることだけが塾の講師の役割ではない

万全のフォロー体制には子供とのコミュニケーションが不可欠
小学生対象の進学塾は予備校方式では役不足
勉強を教えること以外の役割とは
子供との信頼関係なしでフォロー体制は機能しない
希学園ではチューター・クラス担任など担当者をおき、
自習時間などを利用して、子供たちとのコミュニケーション
機会を十分に確保

3. 頑張ることは素晴らしいこと

イチローがイチ流な理由

精神的な強さ

努力の天才

どんな世界でもスマートさだけでは一流にはなれない

目標に向かって精一杯努力することの大切さ

好きなこと・楽しいことは誰でも頑張れる

スポーツ・芸術と勉強は同じ

全力で頑張った経験は財産

無駄が大きな意味を持つ

頑張る → 思考力の増強

頑張るには評価が不可欠

子供に目標を持たせることは難しい

志望校合格が本当のモチベーションになる期間は短い

結果だけではなく頑張りを評価することが

次の頑張りに繋がる

希学園では宿題プリントシステムで、

常に学習の過程を評価する

4.ピアエデュケーション

友達が友達を育てる効果

同じ目標を持つ仲間の存在

同じ状況にいるからこそ生まれる一体感

あいつも頑張っているから自分も頑張らなきゃ

みんなで合格して、同じ学校に通いたい

塾でできた友達は財産になる

同じ価値観を持てた友達

非常にしんどい状況とともに乗り越えた友達

進学先が違っててもずっと繋がり続ける

集団を育てるという意識

一つ間違えば足の引っ張り合いになる

学習だけではない教育を行う

「克己心」

ピアエデュケーションの意義

集団から何故そうなるのかという理由を探ろうとする

5.感謝できる子供に育てていく

自分が確立できるから感謝できる

甘えからの卒業

苦しみがあるから本当の有り難みがわかる

感謝の気持ちがパワーになる

人間的幅の拡張

中学受験は大人に近づける作業

国語の文章も大人ならわかる感覚を問われる

精神的にどのようにして鍛えていけるか

人としての成長が強い受験生にも繋がる

教育機関としてのポリシー

中学受験の持つ意味を理解できているか

学校以上の役割を塾は果たせる可能性がある

塾を越えたところに塾の本道がある

「スーパーエリート塾 希学園」

II. 思考力の発展に繋がるポイント

算数難問の解き方に必要な頭脳とは？

- ① 数理論的に次の展開に繋げていく力を造り上げることができるか？
- ② 何故そうなるのかという点を常に疑問点として持つことができる能力があるか？
- ③ 自分が出した答えは人(作問者)が何を試したかわかる頭脳を持ち合わせているか？
 - ⇒ 人(作問者)の心に寄り添う気持ちが持てるか？
 - ⇒ 思考過程のルーティン化
- ④ 再度、考え方を追っていくことができるか？
 - トレースしながら再確認できるか？
 - ⇒ 例えば、テスト等の間違い直しを丹念に(途中式まできっちり追い求める)追っていけるかどうか？

Ⅲ. 低学年における算数思考力練成重要ポイント

1. 計算力をつけましょう

3年生までは、まず計算力をきちんとつけておくことが大切です。
計算力は、毎日の練習の積み重ねで確実についていきます。

計算練習の注意点

時間を区切って取り組むこと

- ・10～20 分の間、集中して作業ができるかどうか。

スピードアップ ⇒ 思考の連続

目標を決めて取り組むこと

- ・昨日は3問間違えたけど、今日は間違いを2問以内にしよう。
- ・昨日より速くできるようにしよう。など

ていねいに書くことができるようにすること

- ・位取りをあわせる。
- ・雑な字を書いてミスをしてしまうことのないようにする。
- ・消しゴムをうまく使えるようにする。など

毎日の練習の中で、苦手なところが見えてくるはずです。
よく間違えるところを反復練習することで、必ず計算はできるようになります。

計算力の3要素

計算の方法はわかっているか？

- ・九九がしっかり間違わずにできるか？速く言えるか？
- ・くり上がり・くり下がりがきちんとできているか？

スピードをつける

- ・「速くできる。でもミスがたくさんある。」ではいけません。丁寧な字で位をそろえて書くことが大事です。
- ・スピードをつけて速くできることが、見直し・点検の時間を確保するためにも大切です。

くふうができるか常に考える

- ・ $5+4+5+5+4$ なら、 $5\times 3+4\times 2$ 。
- ・ $23+18+37$ なら、 $23+37$ からやる。

他にもいろいろな「くふう」がありますが、小4以降で習うことが大半になります。今は「簡単にできないかな？」と考える習慣をつけましょう。 ⇒ **※思考過程への落とし込み**

※思考過程への落とし込み

思考過程への落とし込み方法についての見本例

- ① 算数パズルやクイズ形式の楽しそうな本を読む
- ② 常に「なぜそうなるのか？」と考える習慣をつける
- ③ 書き出してみることや、あてはめて考える（試行錯誤を面倒くさいと感じない）
- ④ 図に書いてみることからきまりなどを見つけ出す
- ⑤ 導き出すための式をつくることを積極的に行う

2. テストのとき見直し・点検をしよう

大切なことは「自分ができているな」と思っているところで、点を落とさないことです。テスト終了の5分～10分前には、新しい問題に進んだり、自信のないところに取り組んだりせずに、自信のあるところの見直し・点検に時間をあて、点を落とさないようにしましょう。

最初にといた方法とはちがう方法で見直し・点検

- ・ $25 + 37 = \square$ で、答えが 62 と出たなら、 $62 - 37$ が 25 になるか。
- ・ $80 - \square = 64$ で答えが 16 と出たなら、 $80 - 16$ が 64 になるか。
- ・文章問題でも、同じようにあてはめなどで見直し・点検ができるものもあります。

時間があれば書き出してみる

- ・「●●○●●○●●○……で 15 番目は●か○か」→あと6個書いてみる。

写しまちがいがないか指さし確認

- ・問題の写し間違い、答えの写し間違いをしていないか指でおさえながらたしかめていきましょう。
- ・そのためには計算用紙に整理して書くことが大切です。右のように、何番はどこに解いたか残すようにしましょう。

①	
②	
③	

問題で何をきかれているか確認

- ・単位の確認。(mか cm か など)
- ・兄を答えるのか、弟を答えるのか など、考え方はわかっているのに、答え方でミスをしていないか確認しましょう。

※単位は合っていますか？

3. 保護者の方の対応

計画性をもたせること

- ・計算ドリルを毎日 10 分間取り組む。
- ・今から何分で何問に取り組む、など。

具体的な目標を小刻みに設定すること

- ・長時間で区切ると、集中力は持続しません。短い時間に区切ってその中で目標を立ててあげてください。

自信を与えること

- ・ほめてあげることで、学習効果、効率が大幅に高まります。

まちがい直しでしっかり自分の力にしていくこと

- ・丸つけはお家の人をしてあげてください。そのときに、単なるミスで間違えたのか、知らなかったのかで間違えたのかを見てあげてください。
- ・ミスで間違えた場合は、自分がしてしまうミスはどこなのか、そのミスに気づくにはどうすればよいのかを一緒に考えてあげてください。
- ・知らなかった場合は、同じ問題を時間をあけてくり返し練習し、定着できるように工夫してあげてください。

IV. 常識的判断の形成

問題

200 円のシャープペンシルと、50 円のボールペンと、32 円のえんぴつを合わせて 9 本買くと、678 円でした。

(1) えんぴつは何本買いましたか。

答	4	本
---	---	---

(2) ボールペンは何本買いましたか。

答	3	本
---	---	---

ポ

どこに注目するのか？

678 円の一の位の 8 だよ！

端数 8 円は、200 円のシャープペンシルや、50 円のボールペンをいくら買っても出てきません。つまり、32 円のえんぴつを買った話しかから出てくるのです。

$32 \times 4 = 128$ (円) または $32 \times 9 = 288$ (円) これではここで 9 本買い切っているのでダメ！！

したがって、32 円のえんぴつ 4 本 $678 - 128 = 550$ (円)

(2)	$200 \times 1 \rightarrow 50 \times 7$	判定
	$200 \times 2 \rightarrow 50 \times 3$	×
		○

算数、特に思考力上達のためのまとめ

- ① 買い物など日常生活の中で実際の経験値を多く持たせよう！
- ② 補助単位
h (ヘクト) (TVで台風のニュース時)
mL (ミリリットル) (飲料)
などの生活の周りがあるいは手元をながめたときの注意力を培う！
周りの大人(保護者)の対応によって子供の算数力は伸びる！
- ③ パズルやクイズに多くふれる機会を与える。
- ④ 国語のできる子(読解力のある子)は必ず算数ができる。
しっかりと論理的な繋がりをたどることができるような
トレーニングがベスト！

V. 応用発展力の形成

超難関中入試ではどのような思考力が問われるのか？

生活の中で育む数量感覚

正確な実行力を身につける

生活の中で育む数量感覚

【問題】 1270円の買い物をするとき、おつりの枚数が最も少なくなる払い方は？

1000円

1000円

1000円

100円

100円

100円

10円

10円

10円

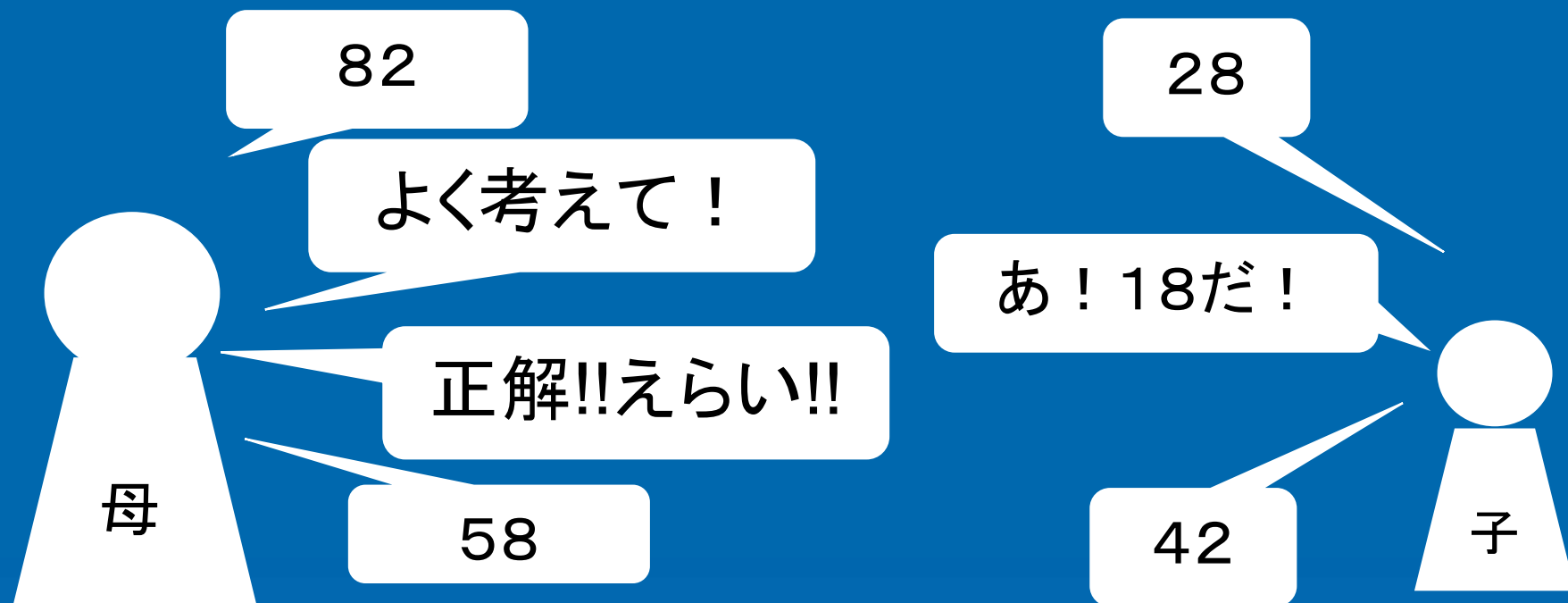


(こたえ) 1320円

おつりは50円玉1枚

正確な実行力を身につける

(例) たして100ゲーム



親子で競うのもよいでしょう。大人は本気になりすぎず、ときどき、子どもに勝ちをゆずってください。しばらくすると、本気になっても勝てなくなります(笑)

正確な実行力を身につける

【問題】 □に＋，－，×，÷を入れて式を完成させる

$$6 \square 3 \square 2 \square 4 = 10$$

(こたえ) $6 \times 3 - 2 \times 4 = 10$

新刊書籍のご案内



知識を深め 考える力を育む

完全理解 小学算数

1冊で中学入試対策

希学園理事長 前田卓郎(編著)

■2020年度からの学習指導要領に対応

中学入試対策本の定番『特進クラス』シリーズが、より読みやすく、よりわかりやすく、パワーアップ!

■1冊で中学入試対策

入試問題を徹底的に分析し、入試に必要な内容を網羅。ハイレベルな内容も充実しているので、1冊で中学入試対策。

■豊富な図解でわかりやすい

図やイラストをたくさん使い、くわしく解説。さまざまな知識が問われる中学入試の内容も、無理なく理解可能。

■実力がつく例題&問題演習

入試問題へスムーズに進むことができるよう、「力だめしの問題」「チャレンジ問題」等、多くの例題を掲載。巻末の「総仕上げテスト」は実際の入試を想定しています。

既刊書籍のご案内



中学受験 **ズバピタ** シリーズ

ズバピタ算数 数の規則性・場合の数

ズバピタ算数 図形

希学園理事長 前田卓郎(著)

■A・B・Cでランク表示

出題率をA・B・C、3つのランクで表示。実力や目的に合わせた学習が可能。

■“要点ズバリ”

中学入試必出のワザをまとめた“要点ズバリ”。ここを読むだけでテスト前の総チェックが可能。

■消えるシートつき

重要な部分を隠しながら、紙と鉛筆がなくても、いつでもどこでも実力を確認する穴うめ学習が可能。

難関国・私立中受験専門スーパーエリート塾



<https://nozomi-east.com/>